

社会福祉法人松戸市社会福祉協議会
令和5年度第1回松戸市居場所づくり全体会議要旨

1 日 時 令和5年4月14日(金) 午後1時30分～3時15分

2 会 場 松戸市社会福祉協議会 第1・2ボランティア室

3 議 事

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 松戸市社会福祉協議会会長挨拶
4. 委員自己紹介
5. 議 題
 - (1) 会長の選出および副会長の指名について
 - (2) 令和4年度「まつどDEつながるステーション」の活動費の精算について
(東部地区・馬橋地区・六実六高台地区・小金地区・馬橋西地区)
 - (3) 令和5年度「まつどDEつながるステーション」の活動について
 - (4) 令和5年度「まつどDEつながるステーション」の承認・活動費の支出について
(新松戸地区・明第2西地区)
6. その他

4 出 席 者

(1) 出席委員(9名)

会長	文入 加代子	松戸市社会福祉協議会 会長
副会長	恩田 忠治	松戸市町会・自治会連合会 会長
委員	安蒜 正己	松戸市町会・自治会連合会 副会長
委員	平川 茂光	松戸市民生児童委員協議会 会長
委員	山崎 恵	特定非営利活動法人まつどNPO協議会 理事
委員	松村 大地	特定非営利活動法人まつどNPO協議会 理事
委員	伊東 朱美	松戸市総合政策部 部長
委員	上野 真一	松戸市市民部 部長
委員	小川 早苗	松戸市社会福祉協議会 副会長

(2) 出席機関(6名)

松戸市総合政策部地域共生課

(3) 事務局(7名)

松戸市社会福祉協議会

5 議題内容

■会長の選出および副会長の指名について

松戸市居場所づくり全体会議会長及び副会長について、松戸市居場所づくり全体会議設置要綱に基づき選出。会長は互選により文入委員が推薦され、異議なしとして承認された。副会長は文入会長の指名により恩田委員が推薦され、異議なしとして承認された。

■令和4年度「まつど DE つながるステーション」の活動費の精算について

(1)東部地区

実績報告額 319,556 円 活動助成金 320,000 円 返納額 0 円

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

東部地区ステーション開催概要

ステーション名	東部地区「まつど DE つながるステーション」
目的	ステーション活動を通じて、多世代間交流の機会を創出する。
開催日	令和4年8月20日(土)、9月17日(土)、10月22日(土)、11月26日(土)、12月17日(土)、令和5年1月28日(土)、3月4日(土)、3月18日(土)
開催場所	大橋 1102、秋山集会所、和名ヶ谷集会所、東松戸ゆいの花公園
開催内容	・飲食物の提供や工作体験等を通じて多世代間交流の機会を創出 ・東部地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施(回答率 52.2%)
主な対象者	・子どもとその保護者 ・高齢者、高校生等のわかもの等
参加者人数	参加延人数 730 人 平均参加者数 91 人
運営者人数	毎回概ね 20 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他(口コミ、各実行委員の活動での告知)
実績報告額	319,556 円

各委員からのご質問、感想・ご意見はなし

(2)馬橋地区

実績報告額 280,104 円 活動助成金 280,000 円 返納額 0 円

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

馬橋地区ステーション開催概要

ステーション名	まばし DE エンジョイ！～昔遊びで楽しむ居場所～
目的	地域で子どもたちが交流したり、子ども同士で外遊びをする機会が減少している現代社会において、地域の子どもから高齢者までの多世代交流のきっかけづくりを“昔遊び”等を通じて進めていく。
開催日	令和4年9月25日(日)、10月22日(土)、11月27日(日)、12月17日(土)、令和5年1月28日(土)、2月26日(日)、3月12日(日)
開催場所	馬橋東市民センター、八ヶ崎市民センター、県立松戸高校、八ヶ崎会館、三日月会館、馬橋集会所
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・昔遊び等を通じた多世代交流 ・馬橋地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施(回答率 71.1%)
主な対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとその保護者 ・地域の高齢者、中高生等
参加者人数	参加延人数 401 人 平均参加者数 57.2 人
運営者人数	毎回概ね 15 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他(口コミ、各実行委員の活動での告知)／八ヶ崎小学校、八ヶ崎第二小学校、幸谷小学校の全児童へチラシ配布
実績報告額	280,104 円

各委員からのご質問、感想・ご意見はなし

(3)六実六高台地区

実績報告額 320,364 円 活動助成金 320,000 円 返納額 0 円

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

六実六高台地区ステーション開催概要

ステーション名	つどうde6∞6(ツドウデロクロク)
目的	既存の居場所等に来る機会がなかった方々の参加を目指し、多世代間および運営者間の交流促進、つながりづくりを目的とする。
開催日	令和4年8月23日(火)、9月20日(火)、10月20日(木)、11月10日(木)、12月23日(金)、令和5年1月28日(土)、2月25日(土)、3月19日(日)
開催場所	六実市民センター、高柳町会会館、にじいろパル松戸六実、信隆寺、やなぎ町会館、六実集会所、郵政宿舍集会所・駐車場
開催内容	・体操、昔遊びなどのプログラムを通じた、多世代間交流および居場所運営者間交流

	<ul style="list-style-type: none"> ・六実六高台地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施（回答率 29.5%）
主な対象者	六実六高台地区の方々および居場所運営などに関わるの方々等
参加者人数	参加延人数 648 人 平均参加者数 81 人
運営者人数	毎回概ね 5 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他（口コミ、各実行委員の活動での告知）
実績報告額	320,364 円

各委員からのご質問、感想・ご意見はなし

(4)小金地区

実績報告額 415,890 円 活動助成金 480,000 円 返納額 64,110 円

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

小金地区ステーション開催概要

ステーション名	小金わくわく農園
目的	農福連携をテーマに、農作業を通じて子どもと高齢者等の多世代他属性間交流の機会創出を目指す。
開催日	令和 4 年 4 月 24 日（日）、5 月 15 日（日）、6 月 11 日（土）、7 月 16 日（土）、8 月 11 日（木）、9 月 3 日（土）、10 月 29 日（土）、11 月 23 日（水）、12 月 11 日（日）、令和 5 年 1 月 29 日（日）、2 月 19 日（日）、3 月 18 日（土）
開催場所	<ul style="list-style-type: none"> ・農園（農作業場所）：本土寺参道裏 ・赤門家 ・小金北市民センター
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農作業を通じての多世代交流（農作物の手入れ、収穫等の農作業） ・収穫イベント ・農作業をテーマとした講演会等の学びの場 ・小金地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施（回答率 54.9%）
主な対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとその保護者および高齢者 ・高齢者、障害者福祉施設の利用者等
参加者人数	参加延人数 430 人 平均参加者数 35.8 人
運営者人数	毎回概ね 10 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／町会・自治会の掲示板や回覧板/SNS投稿／その他（口コミ、各実行委員の活動での告知）
実績報告額	415,890 円

各委員からのご質問、感想・ご意見はなし

(5)馬橋西地区

実績報告額 40,424 円 活動助成金 40,000 円 返納額 0 円

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

馬橋西地区プレイベント開催概要

プレイベント名	みんなでワイワイ
目的	地域の子どもから高齢者までの多世代交流のきっかけづくりを“ユニバーサルスポーツ”を通じて進めていく。
開催日時	令和5年2月4日(土) 10時～12時
開催場所	馬橋市民センター
開催内容	・ポッチャ(練習、ゲーム形式) ・アンケートの実施(回答率100%) ・馬橋西地区および市内の各種情報提供
主な対象者	馬橋西地区の子どもとその保護者、高齢者や中高生
参加者人数	21人
運営者人数	21人
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他(口コミ、各実行委員の活動での告知)
実績報告額	40,424円

各委員からのご質問、感想・ご意見はなし

■令和5年度「まつど DE つながるステーション」の活動について

松戸市地域共生課より以下、説明。

- ・令和4年度の取り組み概要
- ・令和5年度の取り組み方針

ステーション活動回数:月1回から原則年間6回以上(2ヶ月に1回程度)に改める

異議なしとして承認された。

■令和5年度「まつど DE つながるステーション」の承認・活動費の支出について

(1)新松戸地区

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

新松戸地区ステーションの開催概要

プレイベント名	新松戸地区「まつど DE つながるステーション」プレイベント
---------	--------------------------------

目的	・地区内で居場所づくりの取り組みを始めることを周知する。 ・参加者の反応などを確認・検証し、定期開催のプログラム構築等へ活かす。
開催日時	令和5年5月27日(土)10時～12時
開催場所	新松戸市民センター(新松戸3-27)
開催内容	・古本市(配布、持ち込み等を実施) ・茶などを飲みながら本を通じた多世代間交流 ・新松戸地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	新松戸地区在住者および在勤、在学者
参加者人数	100人程度
運営者人数	20人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他(口コミ、各実行委員の活動での告知)
助成金申請額	40,000円

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問1】

「まつど DE つながるステーション」の承認について、新型コロナウイルス感染症対策が入っており、個人情報である名簿も作成しているようだが、いつまで続けるか。

【回答1】

名簿については保険の関係で必要になるので、新型コロナウイルス感染症対策とは別に引き続き作成したい。

【質問2】

新型コロナウイルス感染症対策については削除したほうがよい。新規事業についても考えたほうが良い。

【回答2】

今後、承認基準から外して対応したい。

【質問3】

名簿は保険が絡むので作成したいとの話があったが、この地区は予算に保険料は入っていない。他の地区は予算にあがっているので説明してほしい。

【回答3】

今回、プレイベントで金額が40,000円と限りがあること、調理や危険を伴った出し物なども行う予定がないこと等を鑑み、実行委員会で予算計画に計上しないことにした。定期開催する際に、改めて保険への加入を実行委員会で検討していく予定。

新松戸地区は行事保険には加入していないが、市全体では、賠償保険に加入している。

保険適用要件として、会場内に入る前に氏名等の記載が必要となる。

【質問 4】

保険内容について聞きたい。

【回答 4】

各保険金とも事故の日から 180 日以内が対象。

死亡保険は 100 万円。後遺障害金は死亡保険金の 4～100%、最大 100 万円。入院補償保険金は入院期間に応じて 10,000～150,000 円。通院補償保険金は、通院日数に応じて 5,000～60,000 円が補償される。

各委員よりいただいた感想・ご意見の概要

・感染症が心配な方もいるので、強制しないような表現で感染症対策にご協力願いたいとするのもよい。

・ボランティア活動保険や行事用保険を併用していったらどうか。

(2) 明第 2 西地区

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

明第 2 西地区ステーションの開催概要

ステーション名	明第 2 西地区「まつど DE つながるステーション」
目的	ステーション活動を通じて、多世代間交流の機会を創出する。
開催日	令和 5 年 6 月～令和 6 年 3 月
開催場所	古ヶ崎市民センター等
開催内容	・地区内の既存活動を周知、体験 ・体験を通じての多世代間交流 ・明第 2 西地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	・子どもとその保護者 ・高齢者、高校生等のわかもの等
参加者人数	1 回 200 人程度
運営者人数	1 回 20 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS 投稿／その他（口コミ、各委員の活動での告知）
助成金申請額	400,000 円

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問 1】

1 回の参加者が 200 人と大きな規模となる。他地区でも人の集客には苦勞しているの、どんな集客を考えているのか。ポッチャは高校生にどう響くと考えているのか。

【回答 1】

既存の活動を活かしていくということで、第 1 回のプログラムは射的とボッチャ、お茶のみサロンとなっている。射的は過去の開催実績から想定すると、数百人規模で人が集まる。

地域の若者を発掘していこうという思いで実行委員会を組織しており、構成メンバーの平均年齢もかなり若い。地域を下から盛り上げて行こうという実行委員の思いで参加人数も 200 人となっている。

【質問 2】

備品購入費にコーヒーメーカー30,000 円が申請されているが、備品購入費はどのくらいまで認められるのか。予算が 400,000 円として 50%の 200,000 円位でも可能か、極端なことを聞きたい。

【回答 2】

「まつど DE つながるステーション」活動助成金交付要綱に備品購入費は凡用性がなく、借り上げが不可であるものとなっている。

上限は決まってないがパソコンやタブレットなど開催していないときにも使用できるもの、高価なものは購入できないと話している。

明第 2 西地区では高齢の方に参加してもらうにはお茶が飲めるスペースが必須であり、毎回お茶コーナーを作りたいとの意向があったのでコーヒーメーカーを予算に計上した。

【質問 3】

予算の会場使用料について、年間スケジュール案として古ヶ崎市民センターと町会会館となっているが市民センターは公的なものなので使用料が発生しない。予算の割合と場所の使用頻度はどのように考えているのか。予算の内訳を教えてください。

【回答 3】

開催場所は古ヶ崎市民センターがベースとなるよう予定を組んでいる。町会会館の使用料の他にも備品のレンタル使用料を入れて 10,000 円の予算となっている。

【質問 4】

スケジュールについて、6 月から 10 回開催予定だが、今回の会議で原則 6 回以上となった。これを踏まえて回数を見直す可能性もあるのか。

【回答 4】

場合によっては変更する可能性もある。

6 その他

今後の予定

令和 5 年度第 2 回松戸市居場所づくり全体会議の開催

日時: 令和 5 年 7 月 13 日(木) 午後 1 時 30 分～